

休養・こころの健康づくり

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
自費に関する普及及び相談体制の充実						
自殺予防に関する情報を住民に提供している市町村						
休養に関する健康教育の実施市町村						
こころの健康づくりを視点とした健康教育の場						
うつ病などの精神疾患への対応に関する健康教育の場						
市町村における自殺予防に関する相談窓口						
保健所・市町村において精神保健福祉相談を受ける人の保健所・市町村が実施する精神障害者・家族支援事業への参加延べ人数						
うつ病の早期発見・早期治療のための病院・診療所医師等による協力体制						
いのちの電話など自殺予防に関する相談窓口						
電話相談件数						
精神保健ボランティア活動人員						
母子保健指導員						
保健指導にあたる者のうちストレスをもった者に対する専門的な相談先を知っているものの割合						
「スクールカウンセラー」や「心の教育相談員」を配置している小中高学年数増加						
メンタルヘルスクアを実施している事業所(常用労働者10名以上)の割合増加						
地域において心の健康(メンタルヘルス)に関する専門的な研修を受けた相談員						
研修を受けたストレス、メンタルヘルス相談の指導者数						
定期健診でストレスチェックを取り入れる機関の増加						
検診受診者のうちストレス自己チェック実施者						
各種健診等において、ストレスチェックを実施する市町村及び事業所の数						
気軽に相談できる相手のいる人の増加						
気軽に相談できる場所がある						
友人や近所の人と集まる機会がある						
「おしゃべりや悩み事を聞いてくれる人」のいない人						
「ちょっとした用事や留守番を頼める人」のいない人						
「誰かんだたき寄ってくれる人」のいない人						
精神疾患(うつ病など)について理解していない人の割合の減少						
家族団らん(単身者は有人との語らいの時間)が1時間以上ある人の割合						
夫婦間の会話が少ない西暦						
孤独を感じている人の割合						
ボランティア活動参加率						
ボランティア活動や各種の地域活動に参加している人の割合						
公民館における「老人や高齢者」の学級・講座実施率						
寄附サービスを利用する高齢者						
生活のリズムが規則正しい人の増加		38.8→増加				
ストレスがいつも軽減できる人の増加		22.5→増加				
メンタルヘルスをサポートするシステムを備えている事業所の増加		不明→増加				
メンタルヘルスをサポートするシステムを備えている学校の増加		不明→増加				
こころの健康づくりに関する普及啓発事業を行う市町村のワークショップ指導できる教員の増加						
日常生活に対する健康意識のある者の割合						
休養・こころの健康に関する学習の場を提供する市町村の休養・こころの健康に関する学習や活動を行う自主グループの数						
心の健康教室の開催						
メンタルヘルスに関する相談ができる指導者の数						
メンタルヘルスボランティア団体数						
メンタルヘルスに関する相談の場を提供している市町村数						
メンタルヘルスに関する情報提供を行っている市町村数						
メンタルヘルスに関する相談窓口						
相談窓口を知っている人の割合を増やす						
こころの健康づくりを視点とした健康教育の場						
こころの健康を促すための学習の機会を増やす						
こころの健康に関する情報提供の機会を増やす						
こころの健康に関する拠点機関の設置						
暑・寒ともにきちんとした食事を摂るものの割合を増加一日最低一食きちんとした食事を家族二人以上で30分以上時間をかけてとるものの割合の増加	65.1→80.0以上					
労務研修などによるストレス解消に関する啓発				不明→市町村、学校、職場100.0		
研修を受けたストレス、メンタルヘルス相談の従事者の数				不明→保健従事者の50.0以上		
悩みやストレスがある人の減少					46.2→41.0以下	
休養の「不足」あるいは「不足が与」の人の減少						
スクールカウンセラーの配置中学校数						
ストレスに関する健康教育を行う市町村						
農家における計画的休耕の定着						
コンサート、演劇などの開催数						
生涯を通じて一人ひとりが「こころの健康」への認識を深め、また、ストレス対策ができる体制を整備することにより「悩みやストレスを持っている人」の割合を減少する						不明→減少
休養・こころの健康に関する学習や活動の場を提供する機						
休養・こころの健康に関する学習や活動を行う自主グループ						
アルコール依存症の人						
未成年者の飲酒						
管けし刺などの薬物の乱用依存者						
薬物乱用による被害者						
学校における薬物乱用防止教育の取組状況						
学校体育施設の開放率						
日常生活の中で買物や散歩などを含めた外出について、「自分から積極的に外出する方である」とする者						
かかりつけ医によるストレスに関する指導						
健康促進のための自然環境体験施設を設けている市町村						
都市公園の整備						

休養・こころの健康づくり

項目	健康増進/こころのケア	健康増進	健康増進	健康増進	健康増進	健康増進	健康増進	健康増進
自殺に関する啓発及び相談体制の充実								
自殺予防に関する情報を住民に提供している市町村								
休養に関連した健康教育の実施市町村								
こころの健康づくりを視点とした健康教育の場	増やす							
うつ病などの精神疾患への対応に関する健康教育の場	増やす							
市町村における自殺予防に関する相談窓口								
保健所・市町村において精神保健福祉相談を受ける人の保健所・市町村が実施する精神障害者・家族支援事業への参加延べ人数								
うつ病の早期発見・早期治療のための病院・診療所医師等による協力体制								
いのちの電話など自殺予防に関する相談窓口								
電話相談件数								委託いのちの電話13.616件心の健康ダイヤル1.984件→記載なし
精神保健ボランティア活動人員								
母子保健推進委員						1840→2400		
保健指導にあたる者のうちストレスをもちた者に対する専門的(相談先を知っている)との割合								
「スクールカウンセラー」や「心の教育相談員」を配置している小・中・高等学校数の増加								
メンタルヘルスケアを実施している事業所(常用労働者10名以上)の割合の増加								
地域において心の健康(メンタルヘルス)に関する専門的な研修を受けた相談員								
研修を受けたストレス、メンタルヘルス相談の指導者数								
定期健診でストレスチェックを取り入れる機会の増加								
後援事業のうちのストレス自己チェック実施率								
各種健診等において、ストレスチェックを実施する市町村及び事業所の数								調査予定→増やす
気軽に相談できる相手のいる人の増加								調査中→増やす
気軽に相談できる場所がある						増加		
友人や近所の人と集まる機会がある								
「心配や悩みを聞いてくれる人」のいない人								
「ちょっと話相手や聞き手を探さないと」のいない人								
「誰か話を聞いてくれる人」のいない人								
精神疾患(うつ病など)について理解していない人の割合の減少								
家族から単身者や有名人との語りの時間が1時間以上ある人の割合								
夫婦間の会話が少ない割合								20歳以上男21.4女24.1→減らす
孤独を感じている人の割合								20以上男21.4女24.1→減らす
ボランティア活動参加率								
ボランティア活動や各種の地域活動に参加している人の割合						382→500		
公民館における「障がい者や高齢者」の学級・講座実施率								
支援サービスを利用する高齢者	増やす							
生活のリズムが規則正しい人の増加								
ストレスがいつか解消できる人の増加								
メンタルヘルスをサポートするシステムを備えている事業所の増加								
メンタルヘルスをサポートするシステムを備えている学校の増加								
こころの健康づくりに関する普及啓発事業を行う市町村の「ワンセグ」指導できる教員の増加								
日常生活に対する満足感がある者の割合							47.5→10.0増加	
休養・こころの健康に関する学習の場を提供する市町村の休養・こころの健康に関する学習や活動を行う自主グループの数								28→全市町村 調査法検討→増やす
心の健康教室の開催								
メンタルヘルスに関する相談ができる指導者の数						不明→増やす		調査法検討→増やす
メンタルヘルスボランティア相談員								
メンタルヘルスに関する相談を提供している市町村数								15→全市町村
メンタルヘルスに関する相談窓口を行っている市町村数								37→全市町村
メンタルヘルスに関する相談窓口						不明→増やす		
相談窓口を知っている人の割合を増やす								
こころの健康づくりを視点とした健康教育の場	不明→減らす							
こころの健康を促すための学習の機会を増やす						不明→増加		
こころの健康に関する情報提供の機会を増やす						不明→増加		
こころの健康に関する健康増進の機会を増やす								なし→設ける
「食生活に気を配った食事をするもの」の割合を増加一日最低一食きちんとした食事を家族二人以上で30分以上時間をかけてとるもの割合の増加								
「寝不足」によるストレスへの影響								
研修を受けたストレス、メンタルヘルス相談の指導者数								
悩みやストレスがある人の減少								
休養の「不足」あるいは「不足がちな」人の減少								
スクールカウンセラーの配置中学校数								
ストレスに関連した健康教育を行う市町村								
農業における計画的休養の促進								
コンサート、演劇などの開催数								
生涯を通じて一人ひとりが「こころの健康」への認識を深め、また、ストレス対策ができる体制を整備することにより「悩みやストレスを抱えている人」の割合を減少する								
休養・こころの健康に関する学習や活動の場を提供する関係機関						不明→増やす		
休養・こころの健康に関する学習や活動を行う自主グループ						不明→増やす		
アルコール依存症の人						不明→減らす		
未成年者の飲酒						不明→減らす		
常時服用などの薬物の乱用依存者						不明→減らす		
薬物乱用による被害者								
学校における薬物乱用防止教育の取組状況								
学校体育施設の開放率						増やす(県立学校712→900)		
日常生活の中で買物や散歩などを含めた外出について、「自分から積極的に外出する方である」とする者が1割以上いることに関する取り組み								
健康促進のための自然環境整備を推進している市町村								
都市公園の整備								

休養・こころの健康づくり

項目名	目標値		実績値		評価		備考	
	休養・心の健康づくり	休養・ストレス(心の健康)	こころの健康づくり	健康休養・こころの健康づくりの推進	休養・心の健康	休養・こころの健康	休養・こころの健康	休養・こころの健康
自殺に関する啓発及び相談体制の充実								
自殺予防に関する情報を住民に提供している市町村								
休養に関する健康教育の実施市町村								
こころの健康づくりを重点とした健康教育の場								
うつ病などの精神疾患への対応に関する健康教育の場								
市町村における自殺予防に関する相談窓口								
保健所・市町村において精神保健福祉相談を受ける人の保健所・市町村が実施する精神障害者・家族支援事業への参加延べ人数								
うつ病の早期発見・早期治療のための病院・診療所医師等による協力体制								
いのちの電話など自殺予防に関する相談窓口								
電話相談件数								
精神保健ボランティア活動人員								
母子保健推進委員								
保健指導にあたる者のうちストレスをもった者に対する専門的な相談先を知っているものの割合		不明→1000						
「スクールカウンセラー」や「心の教育相談員」を配置している小中高等学校数の増加								
メンタルヘルスケアを実施している事業所(常用労働者10名以上)の割合の増加								
地域において心の健康(メンタルヘルス)に関する専門的な研修を受けた相談員		保健婦・保健士数 除不明→500						
研修を受けたストレス・メンタルヘルス相談の指導者数								
定期健診でストレスチェックを取り入れる機会の増加								
検診受診者のうちストレス自己チェック実施者								
各種健診等において、ストレスチェックを実施する市町村及び事業所の数								
気軽に相談できる相手のいる人の増加						40-59歳 62.7→82.0		
気軽に相談できる場所がある						81.3→90.0		
友人や近所の人が集まる機会がある								
「お祭や秋の会」を開催してくれる人のいない人								
「ちょっとした用事や留守番を頼める人」のいない人								
「寝込んでしまえぬ人」のいない人								
精神疾患(うつ病など)について理解していない人の割合の減少								
家族団らん(単身者は有りと)の語らいの時間(1時間)以上ある人の割合								
家族間の会話が少くない両親								
孤独を感じている人の割合								
ボランティア活動参加率								
ボランティア活動や各種の地域活動に参加している人の割合(65歳以上の人や高齢者)の年齢・講座実施率								
支援サービスを利用する高齢者								
生活のリズムが壊れていない人の増加								
ストレスがうつ・解消できる人の増加								
メンタルヘルスをサポートするシステムを備えている事業所の増加								
メンタルヘルスをサポートするシステムを備えている学校の増加								
こころの健康づくりに関する普及啓発事業を行う市町村のカウンセリング推進できる数自の増加		不明→1000						
日常生活に対する理解がある者の割合								
休養・こころの健康に関する学習の場を提供する市町村の休養・こころの健康に関する学習や活動を行う自主グループの数								
心の健康教室の開催						31市町村→58市 町村事務所 6.5→13.0		
メンタルヘルスに関する相談ができる指導者の数								
メンタルヘルスボランティア団体数								
メンタルヘルスに関する相談の場を提供している市町村数								
メンタルヘルスに関する情報提供を行っている市町村数								
メンタルヘルスに関する相談窓口								
相談窓口を知っている人の割合を増やす								13年度調査→調査法 設定
こころの健康づくりを重点とした健康教育の場								
こころの健康を促すための学習の機会を増やす								
こころの健康に関する情報提供の機会を増やす								
こころの健康に関する拠点機関の設置								
量・質ともにきちんとした食事を摂るものの割合を増加(1日最低一食きちんとした食事を家族二人以上で30分以上時間をかけてとるもの)の割合の増加								
広報紙などによるストレス等に関する啓発								
研修を受けたストレス・メンタルヘルス相談の指導者の数								
悩みやストレスがある人の減少								
休養の不足(不足)が原因の人の減少								25.7→20.0
スクールカウンセラーの配置中学校数								
ストレスに関する健康教育を行う市町村		不明→1000						
農家における計画的休みの実施								
コンサート・演劇などの開催数								
生涯を通じて一人ひとりが「こころの健康」への認識を深め、また、ストレス対策ができる体制を整備することにより「悩みやストレスを持っている人」の割合を減少する								
休養・こころの健康に関する学習や活動の場を提供する機								
休養・こころの健康に関する学習や活動を行う自主グループ								
アルコール依存症の人								
未成年者の飲酒								
覚せい剤などの薬物の乱用依存者								
薬物乱用による被害者								
学校における薬物乱用防止教育の取組状況								
学校体育施設の開放率								
日常生活の中で買物や散歩などを含めた外出について、「自分から積極的に外出する方である」とする者								
かかりつけ医によるストレスに関する指導		不明→入室 29→増やす						
健康促進のための自然環境施設整備が、している市町村								
都市公園の整備		72㎡/人→120 ㎡/人						
								さらに検閲を要 する指標・不適 切なストレス対 処行動(大量飲 酒、ギャンブル に熱中等)と る者の割合

たばこ

項目/部名	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及(受動喫煙)	肺がん、喘息、気管支炎、心臓病、脳卒中、胃潰瘍、妊娠に関連した異常、歯周病今後調査予定→100.0	63.8	→90.0以上	27.3	→90.6	100	肺がん75.0喘息48.9気管支炎50.8心臓病30.5脳卒中21.3胃潰瘍25.4妊娠に関連した異常60.8歯周病20.5→100.0	肺がん、喘息、気管支炎、心臓病、脳卒中、胃潰瘍、妊娠に関連した異常、歯周病今後調査→100.0	今後調査	肺がん、喘息、気管支炎、心臓病、脳卒中、胃潰瘍、妊娠に関連した異常、歯周病未定→100.0
喫煙が及ぼす健康影響について周知する市町村の増加										
未成年者が喫煙の健康影響を知っている										
非喫煙者への喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及(受動喫煙)									今後調査→100.0	
たばこの煙が及ぼす健康影響以外の知識について十分に持っている人を増やしよう										
未成年・妊産婦のいる所ではたばこは吸わないという意識の普及										
非喫煙者がたばこの煙で不快を感じない										
禁煙に関する知識について知っている人の割合										
タバコ対策を望む人の割合										
喫煙率の減少	男57.0女16.3→全国平均以下									男51.7女9.1→「喫煙率半減」をスローガンに、喫煙率の現象が大幅に進むよう努める。
喫煙者数の減少										未設定
喫煙者のしんじく世帯獲得成功率										
たばこをやめたいと思っている人の禁煙達成率の増加										
喫煙者がたばこを止めたいと思わない										
妊産婦率		0.0	不明→0.0	目指す			今後調査→0.0			
妊娠・育児中の女性の喫煙										
県民一人あたりのたばこ消費量の減少										
中3男14.4女5.8 高3男48.7女19.8→0.0	中1高3今後調査予定→0.0	11.7	→0.0	不明→0.0	中1男7.5女3.8高3男36.9女15.6→0.0	高3男女今後調査→0.0	15-19歳男19.0女4.3→0.0	中男20.1女9.2高男53.9女26.8→0.0		
中学生での喫煙体験をなくす児童生徒の前での教員等の喫煙										
学校における防煙教育対策										
学校での喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施										
喫煙が及ぼす健康影響についての教育を実施している学校										
公共施設	66.1→100.0	県庁舎100.0→100.0市町村庁舎49.3→100.0文化施設教育・保育施設、医療・保健施設、体育施設、従業員50人以上の事業所、公共交通機関今後調査予定→100.0従業員60人未満事業所今後調査→50.0		分煙する公共施設→推進 分煙の徹底・知識の普及不明→徹底と普及	61.2	→100.0	公共施設44.6職場今後調査→100.0	病院外来待合室の分煙実施率48.3→100.0診療所外来待合室の分煙実施率67.4→100.0公共機関53.3→100.0事業所分煙実施率53.9→100.0学校職員室分煙実施率38.1→100.0	県市町村公共機関、学校、事務所従業員50人以上100.0	分煙-公共の場57.8行政機関50.5→100.0知事-公共の場38.3行政機関60.1→100.0
市町村庁舎で喫煙制限(分煙、禁煙など)が実施されていない施設数の減少										
喫煙者のうち家庭や職場で分煙を要行している										
家庭内分煙の徹底										
公的機関の喫煙対策										
禁煙または完全分煙の実施										
喫煙対策未実施の企業の割合										従業員50人未満51.050-300人27.0301人以上10.0→0.0
効果の高い分煙について知っている人の割合の増加										
分煙について正しい知識を持っている人の割合を伸ばす										
日常生活において受動喫煙の影響が大きい										
公共の場、職場等での分煙が必要なことを知っている人の増加										
喫煙対策未実施の医療機関の割合										診療所4.5外来待合室15.8病室5.5病棟面会室19.2→0.0
公共の場、職場での禁煙タイム、空間分煙の実施										
周囲の喫煙で困っている人の減少										
最近受動喫煙の機会があった人の割合									64.1	→40.0
喫煙・分煙を推進する強化に関する禁煙支援プログラムを全ての市町村で実行されるようにする	今後調査予定→100.0		20.0	→100.0					不明→100	64.3→100.0
喫煙者がたばこを止めたいと思わない禁煙支援プログラムを普及させる										
何らかの禁煙サポートを実施している割合										
老人保健法に基づく禁煙プログラム実施市町村数										
喫煙者と非喫煙者が共に理解し合い、互いに迷惑をかけない社会をめざす										
禁煙支援(民間企業)										5.0→20.0
妊婦への禁煙指導実施率(市町村、産科機関)									今後調査→100.0	
禁煙補助金を併用し、禁煙指導を実施している医療機関の割合									31.0	→75.0以上
禁煙のための個別健康教育を実施している市町村									5	→全69

たばこ

項目	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値
たばこに関する健康教育や禁煙指導を実施する市町村の割合の増加		不明	1000					
禁煙支援体制を整えた市町村数								
この1年間で、たばこに関する健康教室や禁煙指導(保健所、保健センター、医療機関等の開催)に参加したことのある人の割合の増加		3.1	300					
禁煙教育の実施率								
禁煙教室の開催								
市町村・保健所において禁煙指導を受ける人の数	66.0人~100人以上(人口10万対延人数)							
禁煙希望者(禁煙に関心がある者を含む。)の禁煙達成の向上による成人非喫煙者の割合		73.9	80.0以上					
学校におけるたばこに関する禁煙指導の充実	小中高、短大・大学、その他の学校今後調査予定~100.0幼稚園・保育園今後調査予定~50.0	充実						
喫煙防止教育を行なう学校の割合								小58.1中50.4高特殊学校92.3~100.0
禁煙希望者への支援による非喫煙者の増加								
禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを実施した自治体の増加								
禁煙指導者数								
禁煙指導を受ける者								
両科学校、再科教室における禁煙教育を実施している割合								
二コテン代替法を実施している医療機関数								
禁煙指導を実施している医療機関の割合	今後調査予定~充実							
禁煙外来(医療機関)								14.6~20.0
禁煙補助剤を処方している医療機関数の増加								
たばこに関する調査結果を公表している保健所数の増加								
禁煙希望者への禁煙指導プログラムの提供								
健診会場での禁煙指導								
かかりつけ医における禁煙指導								
喫煙防止・禁煙のための健康教育実施市町村								
老人保健事業個別健康教育(禁煙)を実施する市町村数の増加								
禁煙対策事業の全市町での実施								
たばこ問題に関する普及啓発(喫煙が及ぼす健康影響、質の高い分煙に関する知識の未成年者がたばこを入手する場所)								自販機46.0コンビニ22.0たばこ屋
販売店の未成年者へのタバコ販売禁止の表示								
子どもの前でたばこをすわないようしている大人の割合								
喫煙マナーを守る人の割合								
たばこの自動販売機の状況								
たばこ健康に関する情報提供を行っている市町村数								
たばこ外来を開設している医療機関の数								
禁煙セミナー実施県保健所の割合								
禁煙教育を実施している事業所数の増加								
たばこに関する情報提供の機会を増やす								
青少年の喫煙に関する親の認識								
学校周辺及び分煙を進める施設での自動販売機								
許可を受けずに設置された自動販売機の減少								
午後11時過ぎに稼働を自粛している自動販売機の増加								
ラジオ・テレビによる反喫煙広告の増加								
喫煙者のうち禁煙しようと思う人の増加								
たばこを買うとき年齢を確認している小売店数の増加								
たばこを購入したことがある児童・生徒をなくす								
児童・生徒にたばこを買いに行かせる家族をなくす								
喫煙者のうち禁煙を支援してくれる人がいる割合の増加								
支えあう仲間がいる								
脳卒中死亡者の減少								
脳血管疾患年齢調整死亡率の低減								
心疾患死亡者の減少								
虚血性心疾患年齢調整死亡率の低減								
がん死亡者の減少								
たばこ関連疾患による死亡率(人口10万対)								
流行した歯周炎の減少								
悪性新生物年齢調整死亡率の減少								
40-50代の肺がん死亡率								

たばこ

項目/項目名	たばこ-アルコール	たばこ-健康	たばこ-健康	たばこ-健康	たばこ-健康	たばこ-健康	たばこ-健康	たばこ-健康
<p>①喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及</p> <p>喫煙が及ぼす健康影響について周知する市町村の増加</p> <p>未成年者が喫煙の健康影響を知っている</p>	<p>肺がん74.3妊婦に関連した異常67.0→100.0気管支炎53.4喘息50.6心臓病38.1→80.0以上</p>	<p>肺がん95.2喘息45.1気管支炎62.1心臓病38.9脳卒中28.7胃潰瘍20.5妊婦に関連した異常65.8歯周病21.2→100.0</p>	<p>肺がん91.3 喘息38.8 気管支炎48.6 心臓病77.9 脳卒中17.5 胃潰瘍14.2 妊婦に関連した異常47.5 歯周病11.0→100.0</p>					
<p>非喫煙者への喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及(受動喫煙)</p>	<p>肺がん69.1妊婦に関連した異常61.0→100.0子供の喘息51.7喘息47.9乳幼児への影響38.4→80.0以上</p>							
<p>たばこの煙が及ぼす健康影響以外の知識について十分に持っている人を増やしましょう</p> <p>未成年・妊産婦のいる所ではたばこは吸わないという意識の普及</p> <p>非喫煙者がたばこの煙で不快な思いをしない</p> <p>禁煙に関する知識について知っている人の割合</p>								
<p>タバコ対策を望む人の割合</p>								
<p>喫煙率の減少</p>								
<p>喫煙者数の減少</p>		男43.5→35.1以下女12.3→9.7以下						
<p>喫煙者のしびれ世帯</p> <p>禁煙成功率</p> <p>たばこをやめたいと思っている人の禁煙成功率の増加</p> <p>喫煙者がたばこを止めたいと思う</p> <p>妊婦喫煙率</p> <p>妊婦-育児中の女性の喫煙</p> <p>県民一人あたりのたばこ消費量の減少</p>								
<p>①喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及</p> <p>中学生での喫煙体験をなくす</p> <p>児童生徒の前での教員の喫煙</p> <p>学校における防煙教育対策</p> <p>学校での喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施</p> <p>喫煙が及ぼす健康影響についての教育を実施している学校</p>	17.7→0.0	中1 15.0高2 51.0→0.0	中2男6.5女1.8→0.0	男34.4女14.2→0.0	高3男29.5女11.9→0.0	今後調査→0.0	0.0	不明→0.0
<p>②公共の場・職場での喫煙の制限</p> <p>公共施設</p> <p>公共の場、職場での喫煙タイム、空間分煙の実施</p> <p>周囲の喫煙で困っている人の減少</p> <p>最近受動喫煙の機会があった方の割合</p> <p>③禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようにする</p> <p>喫煙者がたばこをやめたいと思う禁煙するための禁煙支援プログラムを普及させる</p> <p>何らかの禁煙サポートを実施している割合</p> <p>老人保健法に基づく禁煙プログラム実施市町村数</p> <p>喫煙者と非喫煙者が共に理解し合い、互いに迷惑をかけない社会をめざす</p> <p>禁煙支援(民間企業)</p> <p>妊婦への禁煙指導実施率(市町村・医療機関)</p> <p>禁煙補助率を併用し禁煙指導を実施している医療機関の割合</p> <p>禁煙のための個別健康教育を実施している市町村</p>	<p>公共施設69.1→100.0学校97.0→100.0飲食店35.5→70.0以上企業72.0→80.0以上</p>	100.0	<p>公立施設95.9市町村施設95.9の場82.5→100.0</p>	分煙の推進	<p>公共の場74.0職場47.2学校77.2→100.0</p>	<p>議員室今後調査→小中高100.0事業所44.2→80.0</p>		<p>県65.5→100.0市町村51.9→100.0国の出先67.7→100.0事業所67.1→100.0学校76.9→100.0病院80.0→100.0知府→不明→100.0</p>
<p>市町村庁舎で喫煙制限(分煙・禁煙など)が実施されていない施設数の減少</p> <p>喫煙者のうち家庭や職場で分煙を実施している</p> <p>家庭内分煙の徹底</p> <p>公的機関の喫煙対策</p> <p>禁煙または完全分煙の実施</p> <p>喫煙対策未実施の企業の割合</p> <p>効果の高い分煙について知っている人の割合の増加</p> <p>分煙について正しい知識を持っている人の割合を増やす</p> <p>日常生活において受動喫煙の影響がない</p> <p>公共の場、職場等での分煙が可能なことを知っている人の増加</p> <p>喫煙対策未実施の医療機関の割合</p> <p>公共の場、職場での禁煙タイム、空間分煙の実施</p> <p>周囲の喫煙で困っている人の減少</p> <p>最近受動喫煙の機会があった方の割合</p> <p>④禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようにする</p> <p>喫煙者がたばこをやめたいと思う禁煙するための禁煙支援プログラムを普及させる</p> <p>何らかの禁煙サポートを実施している割合</p> <p>老人保健法に基づく禁煙プログラム実施市町村数</p> <p>喫煙者と非喫煙者が共に理解し合い、互いに迷惑をかけない社会をめざす</p> <p>禁煙支援(民間企業)</p> <p>妊婦への禁煙指導実施率(市町村・医療機関)</p> <p>禁煙補助率を併用し禁煙指導を実施している医療機関の割合</p> <p>禁煙のための個別健康教育を実施している市町村</p>								
<p>喫煙率の減少</p>								
<p>喫煙者数の減少</p>		男43.5→35.1以下女12.3→9.7以下						
<p>喫煙者のしびれ世帯</p> <p>禁煙成功率</p> <p>たばこをやめたいと思っている人の禁煙成功率の増加</p> <p>喫煙者がたばこを止めたいと思う</p> <p>妊婦喫煙率</p> <p>妊婦-育児中の女性の喫煙</p> <p>県民一人あたりのたばこ消費量の減少</p>								
<p>①喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及</p> <p>中学生での喫煙体験をなくす</p> <p>児童生徒の前での教員の喫煙</p> <p>学校における防煙教育対策</p> <p>学校での喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施</p> <p>喫煙が及ぼす健康影響についての教育を実施している学校</p>	17.7→0.0	中1 15.0高2 51.0→0.0	中2男6.5女1.8→0.0	男34.4女14.2→0.0	高3男29.5女11.9→0.0	今後調査→0.0	0.0	不明→0.0
<p>②公共の場・職場での喫煙の制限</p> <p>公共施設</p> <p>公共の場、職場での喫煙タイム、空間分煙の実施</p> <p>周囲の喫煙で困っている人の減少</p> <p>最近受動喫煙の機会があった方の割合</p> <p>③禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようにする</p> <p>喫煙者がたばこをやめたいと思う禁煙するための禁煙支援プログラムを普及させる</p> <p>何らかの禁煙サポートを実施している割合</p> <p>老人保健法に基づく禁煙プログラム実施市町村数</p> <p>喫煙者と非喫煙者が共に理解し合い、互いに迷惑をかけない社会をめざす</p> <p>禁煙支援(民間企業)</p> <p>妊婦への禁煙指導実施率(市町村・医療機関)</p> <p>禁煙補助率を併用し禁煙指導を実施している医療機関の割合</p> <p>禁煙のための個別健康教育を実施している市町村</p>	<p>公共施設69.1→100.0学校97.0→100.0飲食店35.5→70.0以上企業72.0→80.0以上</p>	100.0	<p>公立施設95.9市町村施設95.9の場82.5→100.0</p>	分煙の推進	<p>公共の場74.0職場47.2学校77.2→100.0</p>	<p>議員室今後調査→小中高100.0事業所44.2→80.0</p>		<p>県65.5→100.0市町村51.9→100.0国の出先67.7→100.0事業所67.1→100.0学校76.9→100.0病院80.0→100.0知府→不明→100.0</p>

たばこ

項目	たばこ・アルコール	たばこの健康	喫煙	喫煙	喫煙	喫煙
たばこに関する健康教育や禁煙指導を実施する市町村の割合の増加						
禁煙支援体制を整えた市町村数						
この1年間で、たばこに関する健康教室や禁煙指導(保健所、保健センター、医療機関等の開催)に参加したことのある人の割合の増加						
禁煙教育の実施率						
禁煙教室の開催						
市町村・保健所において禁煙指導を要する人の数						
禁煙希望者(禁煙に関心がある者を含む。)の禁煙達成の向上による成人非喫煙者の						
学校におけるたばこに関する保健指導の充実						小学高学年 実施→全学 年実施
喫煙防止教育を行なう学校の割合						
禁煙希望者への支援による非喫煙者の増加						
禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを要しとされる割合の増加						
禁煙指導者数						今後調査→ 増加
禁煙指導を受ける者						
両科学校、両科教室における禁煙教育を実施している割合						
ニコチン代替療法を実施している医療機関数						
禁煙指導を実施している医療機関の割合						
禁煙外来(医療機関)						
禁煙補助剤を処方している医療機関数の増加						
たばこに関する調査結果を公表している保健所数の増加						
禁煙希望者への禁煙指導プログラムの提供						
健診会場での禁煙指導						不明→増や す
かかりつけ医における禁煙指導						不明→充実
喫煙防止・禁煙のための健康教育実施市町村						
老人保健事業個別健康教育(禁煙)を実施する市町村数の増加						
禁煙対策事業の全市町での実施						
たばこ問題に関する普及啓発(喫煙が及ぼす健康影響、質の高い分煙に関する知識)の未成年者がたばこを入手する場所						
販売店の未成年者へのタバコ販売禁止の表示						
子どもの前でたばこをすわないよう促している大人の割合						
喫煙マナーを守る人の割合						
たばこの自動販売機の状況						
たばこ健康に関する情報提供を行っている市町村数						
たばこ外葉を解剖している医療機関の数						
禁煙セミナー実施保健所の割合						
禁煙教育を実施している事業所数の増加						
タバコに関する情報提供の機会を増やす						
青少年の喫煙に関する親の認識						
学校周辺及び分煙を進める施設での自動販売機						
許可を要せずに設置された自動販売機の減少						
午後1時過ぎに稼働を自粛している自動販売機の増加						
ラジオ・テレビによる反喫煙広告の増加						
喫煙者のうち禁煙しようと思う人の増加						
たばこを買うとき年齢を確認している小売店数の増加						
たばこを購入したことがある児童・生徒が減少						
児童・生徒にたばこを買いに行かせる家族が減少						
喫煙者のうち禁煙を支援してくれる人がいる割合の増加						
支えあう仲間がいる						
脳卒中死亡者の減少						循環器疾患報
脳血管疾患年齢調整死亡率の低減						
心疾患死亡者の減少						循環器疾患報
虚血性心疾患年齢調整死亡率の低減						
がん死亡者の減少						がん参報
たばこ関連疾患による死亡率(人口10万対)						
進行した癌患者の減少						癌の健康参報
悪性新生物年齢調整死亡率の減少						
40-50代の肺がん死亡率						

たばこ

目標/前掲名	現状値	目標値	達成率	備考	備考	備考
①喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及	肺がん857喘息547気管支炎614心臓病415胃潰瘍331歯周病25.1→100.0	肺がん877喘息559気管支炎644心臓病363脳卒中237胃潰瘍22.0妊娠に関連した異常62.9歯周病16.2→100.0	不明→増加	不明→普及		肺がん845喘息599気管支炎655心臓病405脳卒中351胃潰瘍341妊娠に関連した異常79.6歯周病27.9→100.0
喫煙が及ぼす健康影響について周知する市町村の増加						
未成年者が喫煙の健康影響を知っている				不明→増加		
非喫煙者への喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及(受動喫煙)						肺がん754喘息(大人)565子供632心臓病331乳幼児の突然死27.8妊娠に関連した異常→100.0
たばこの煙が及ぼす健康影響以外の知識について十分に持っている人を増やしましょう						
未成年・妊娠婦がいる所ではたばこは吸わないという意識の普及						
非喫煙者がたばこの煙で不快な思いをしない						
禁煙に関する知識について知っている人の割合						たばこの依存性51.8禁煙のコツ18.7禁煙の助けになる薬26.8→100.0
タバコ対策を望む人の割合						未成年が吸わない環境作り79.6→100.0駅や病院での禁煙推進→79.2駅では喫煙場所以外を禁煙76.8禁煙指導の場所を増やす
喫煙率の減少	男39.0→32.0女42.8→33.0		男44.8女39.0 15-19歳男12.8女7.0→男36.5以下女9.0以下未成年0.0	成人男子55.7→半減、女子10.0→上昇させないことが望ましい	男54.8女7.1(20代)男61.6音楽18.130代男67.0女9.440代男60.3女2.650歳以上男49.0女4.9)理屈以下	男60.0→60.0以下女19.0→5.0以下
喫煙者数の減少						
喫煙者の正しい世帯禁煙成功率						
たばこをやめたいと思っている人の禁煙達成率の増加		40.5→100.0				
喫煙者がたばこを止めたいと思う						
妊婦喫煙率			5.8→0.0			
妊婦・育児中の女性の喫煙		不明→0.0				
県民一人あたりのたばこ消費量の減少						
②禁煙支援プログラムの普及						
基準値なし(今後調査)→0.0		不明→0.0	0.0 男20.1女3.3→0.0	15-19歳男12.8女7.0→0.0	15-19歳男10.7女2.1高3男50.0女17.4→なくす	不明→なくす 中1男7.5女3.8→0.0高3男36.9女15.6→0.0
中学生での喫煙体験をなくす						
児童生徒の前での教員の喫煙						
学校における防犯教育対策						
学校での喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施						
喫煙が及ぼす健康影響についての教育を実施している学校						
③公共の場・職場での分煙						
公共の場・職場での分煙の普及	全面禁煙・喫煙所設置市町村俊場ロビー167事務室57.5保健センターロビー78.0事務室96.6病院外来待合室62.6→100.0基準値なし(今後調査)→100.0	68.6→100.0	公共施設58.0→100.0商業サービス施設45.6→68.0機材データなし→今後設定	県立施設74.1市町村庁舎64.8保健センター58.2→100.0交通機関・病院・金融機関・ホテル・レストラン不明→未設定	県庁所属機関(事務室)全面禁煙51.8空間分煙10.6未実施37.6県庁所属機関(ロビー・待合室)全面禁煙17.4空間分煙55.2未実施17.4市町村庁舎・出先機関・保健センター(事務室)全面禁煙0.0空間分煙17.6未実施22.1市町村庁舎・出先機関・保健センター(ロビー・待合室)全面禁煙27.9空間分煙50.0未実施22.1	公共の場、職場、効果の高い分煙に関する知識の普及不明→100.0
市町村庁舎で喫煙制限(分煙・禁煙)などが実施されていない施設数の減少						
喫煙者のうち家庭や職場で分煙を実施している						
家庭内分煙の推進		不明→100.0				
公的機関の喫煙対策						
禁煙または完全分煙の実施						病院92.7診療所79.1→100.0官公庁27.4→100.0
喫煙対策未実施の企業の割合						
効果の高い分煙について知っている人の割合の増加						
分煙について正しい知識を持っている人の割合を増やす						
日常生活において受動喫煙の影響がない						
公共の場、職場等での分煙が必要なことを知っている人の増加						
喫煙対策未実施の医療機関の割合						
公共の場、職場での禁煙タイム、空間分煙の実施				35.5→減少		
周囲の喫煙で困っている人の減少						
最近受動喫煙の機会があった人の割合						
④禁煙支援プログラムの普及						
禁煙支援プログラムを全市町村で受けられるようにする		17市町村→99市町村	10.3→100.0			6.8→100.0
喫煙者がたばこを止めたいと思う禁煙するための禁煙支援プログラムを普及させる						
何らかの禁煙サポートを実施している割合						
老人保健法に基づく禁煙プログラム実施市町村数					3市7町→100.0(50市町村)	病院29.9診療所53.0→100.0
喫煙者と非喫煙者が共に理解し合い、互いに迷惑をかけない社会をめざす						
禁煙支援(民間企業)						
妊婦への禁煙指導実施率(市町村・医療機関)						
禁煙補助金を併用し禁煙指導を実施している医療機関の割合						
禁煙のための個別健康教育を実施している市町村						

たばこ

項目/項目名	数値	単位	備考	備考	備考	備考	備考
たばこに関する健康教育や禁煙指導を実施する市町村の割合の増加	200→1000						
禁煙支援体制を整えた市町村数							
この1年間で、たばこに関する健康教室や禁煙指導(保健所、保健センター、医療機関等の開催)に参加したことのあつた人の割合の増加							
禁煙教育の実施率							
禁煙教室の開催							
市町村・保健所において禁煙指導を受ける人の数							
禁煙希望者(禁煙に関心がある者を含む。)の禁煙達成の向上による成人非喫煙者の増加							
学校におけるたばこに関する保健指導の実施							不明→全校で実施
喫煙防止教育を行なう学校の割合							
禁煙希望者への支援による非喫煙者の増加							
禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを受けられる機会の増加					不明→1000		
禁煙指導者数							
禁煙指導を受ける者							
両科学校、両科教室における禁煙教育を実施している割合			市町村、病院不明→1000				
コンピュータ診療法を実施している医療機関数						200→禁煙指導する医療機関の増加	
禁煙指導を実施している医療機関の割合							
禁煙外来(医療機関)							
禁煙補助剤を処方している医療機関数の増加							
たばこに関する調査結果を公表している保健所数の増加							
禁煙希望者への禁煙指導プログラムの提供							不明→個別健康教育を全市町村で実施
健診会場での禁煙指導							
かかりつけ医における禁煙指導							
喫煙防止・禁煙のための健康教育実施市町村							
老人保健事業個別健康教育(喫煙)を実施する市町村数の増加							
喫煙対策事業の全市町村での実施							
たばこ問題に関する普及啓発(喫煙が及ぼす健康影響、質の高い分煙に関する知識の未成年者がたばこを入手する場所)							
販売店の未成年者へのタバコ販売をしない旨の表示							
子どもの前でたばこをすわないうつろにしている大人の割合							
喫煙マナーを守る人の割合							
たばこの自動販売機の状態							
たばこ健康に関する情報提供を行っている市町村数							
たばこ外来を開設している医療機関の数							
禁煙セミナー実施県保健所の割合							
禁煙教育を実施している事業所数の増加							
タバコに関する情報提供の機会を増やす							
青少年の喫煙に関する親の認識							
学校周辺及び分煙を進める施設での自動販売機							
許可を受けずに設置された自動販売機の減少							
午後1時過ぎに稼働を自粛している自動販売機の増加							
ラジオ・テレビによる反喫煙広告の増加							
喫煙者のうち禁煙しようと思う人の増加							
たばこを買うとき年齢を確認している小売店数の増加							
たばこを購入したことがある児童・生徒をなくす							
児童・生徒にたばこを買いに行かせる家族をなくす							
喫煙者のうち禁煙を支援してくれる人がいる割合の増加							
支えあう仲間がいる							
脳卒中死亡者の減少							
脳血管疾患年齢調整死亡率の低減							
心疾患死亡者の減少							
虚血性心疾患年齢調整死亡率の低減							
がん死亡者の減少							
たばこ関連疾患による死亡率(人口10万対)							
運行した喫煙者の減少							
悪性新生物年齢調整死亡率の減少					男200.32女97.67→減少		
40-50代の肺がん死亡率							

たばこ

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標/計画名	肺がん84.5喘息59.9気管支炎65.5心臓病40.5脳卒中35.1胃潰瘍34.1妊娠に関連した異常78.6歯周病27.3→100.0	心臓病58.2脳卒中55.0歯周病35.5早産65.8低体重児出生49.8受動喫煙による周囲者の肺がん82.2受動喫煙による周囲者の気管支炎75.9→100.0	肺がん84.5ぜんそく59.9気管支炎65.5心臓病40.5脳卒中35.1胃潰瘍34.1妊娠への影響79.6歯周病27.3→知照の普及	生活習慣病対策(たばこ)		肺がん84.5ぜんそく59.9気管支炎65.5心臓病40.5脳卒中35.1胃潰瘍34.1妊娠への影響79.6歯周病27.3 主添煙の普及59.9副流煙49.5→100.0	がん81.4、気管支炎、喘息59.8、心臓病38.5、脳卒中35.7、胃潰瘍32.2、妊娠に関連した異常72.1、歯周病22.0→100.0		
喫煙が及ぼす健康影響について周知する市町村の増加									
未成年者が喫煙の健康影響を知っている									
非喫煙者への喫煙が及ぼす健康影響についての知照の普及(受動喫煙)									
たばこの煙が及ぼす健康影響以外の知照について十分に知っている人を増やしよう									
未成年・妊娠婦のいる所ではたばこは吸わないという意識の普及 非喫煙者がたばこの煙で不快な思いをしない 禁煙に関する知照について知っている人の割合				不明→増やす					
タバコ対策を望む人の割合									
喫煙率の減少		男49.8女12.8→減少	男53.5→30.0女89→5.0		男51.3→20.0削減20-29歳女8.6(事業所調査では13.3)→減少	男44.3→25.0以下女8.3→8.0以下	なくす		
喫煙者数の減少									
喫煙者の1/3は世帯禁煙成功者									
たばこをやめたいと思っている人の経路達成率の増加 喫煙者がたばこを止めたいと思う 妊娠喫煙率		今後把握→0.0		不明→0.0					
妊娠・育児中の女性の喫煙 県民一人あたりのたばこ消費量の減少						不明→0.0			
⑥中学校の喫煙率	中1男7.5女3.8高3男36.9女15.6→0.0	中3男7.2女2.8高3男女今後把握→0.0	中1男7.5女3.8高3男36.9女15.6→0.0	中2男9.5女4.5高3男33.5女21.0→0.0	中学男7.1女5.1高校男35.0女11.6→減らす	中学男1.6女0.5高校男12.0女2.0→0.0	不明→0.0	なくす	
⑦小学生の喫煙率									
児童生徒の前での教職員の喫煙						不明→0.0			
学校における防煙教育対策 学校での喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の徹底 喫煙が及ぼす健康影響についての教育を求めている学校							74.0→100.0		
⑧公共の場、職場での分煙の有効性の知照の普及	公共の場、職場 不明→100.0 知っている人の割合 今後調査→100.0	公共施設22.2事業所執務室34.4医療機関62.9学校職員室今後把握→100.0	分煙率不明→100.0	公共の場17.6職場不明学校不明病院46.3診療所30.4歯科診療所45.5運動施設不明→100.0	職場74.3→増やす	完全分煙医療機関67.7行政機関(保健所など)63.8行政機関(役場など)20.0学校69.6職場29.0公共の場29.0家庭45.9→100.0	不明→100.0	事務室64.0会議室53.0外菜者が主に利用する区域41.8→100.0	
市町村庁舎で喫煙制限(分煙・禁煙など)が実施されていない施設数の減少 喫煙者のうち家庭や職場で分煙を求めている 家庭内分煙の徹底									
公的機関の喫煙対策									
禁煙または完全分煙の実施									
喫煙対策未実施の企業の割合									
効果の高い分煙について知っている人の割合の増加 分煙について正しい知識を備えている人の割合を増やす 日常生活において受動喫煙の影響がない 公共の場、職場等での分煙が必要なことを知っている人の増加							33.7→50.0		
喫煙対策未実施の医療機関の割合									
公共の場、職場での禁煙タイム、空間分煙の実施 周囲の喫煙で困っている人の減少 最近受動喫煙の機会があった人の割合									
⑨禁煙前向き希望する者に対する禁煙支援プログラムを全ての市町村で実施されるようにする	32.0→100.0		不明→100.0	1町→増やす		4.7→100.0	増やす		
喫煙者がたばこを止めたいと思う禁煙するための禁煙支援プログラムを普及させる 何らかの禁煙サポートを実施している割合 老人保健法に基づく禁煙プログラム実施市町村数 喫煙者と非喫煙者が共に理解し合い、互いに迷惑をかけない社会をめざす									
禁煙支援(民間企業) 妊婦への禁煙指導実施率(市町村、産後訪問) 禁煙補助薬を併用し禁煙指導を実施している医療機関の割合					不明→増やす				
禁煙のための個別健康教育を実施している市町村						2市町→78市町村			

たばこ

項目	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値
目標/指標名				生活習慣病対策(たばこ)						
たばこに関する健康教育や禁煙指導を実施する市町村の割合の増加										
禁煙支援体制を整えた市町村数										
この1年間で、たばこに関する健康教室や禁煙指導(保健所、保健センター、医療機関等の開催)に参加したことがある人の割合の増加										
禁煙教育の実施率										小学341中学865高校975教員33.4→100.0
禁煙教室の開催										
市町村・保健所において禁煙指導を受ける人の数										
禁煙希望者(禁煙に関心がある者を含む。)の禁煙達成の向上による成人非喫煙者の										
学校におけるたばこに関する禁煙指導の充実										
喫煙防止教育を行なう学校の割合										不明→100.0
禁煙希望者への支援による非喫煙者の増加										
禁煙、前煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを受けられる機会の増加										
禁煙指導者数										
禁煙指導を受ける者				不明→増やす						
同級生級、両親教室における禁煙教育を実施している割合										
ニコチン代替療法を実施している医療機関数										169→増加
禁煙指導を実施している医療機関の割合										
禁煙外来(医療機関)										34施設→倍増
禁煙補助剤を処方している医療機関数の増加										
たばこに関する調査結果を公表している保健所数の増加										
禁煙希望者への禁煙指導プログラムの提供										
健診会場での禁煙指導										
かかりつけ医における禁煙指導										
喫煙防止・禁煙のための健康教育実施市町村										
老人保健事業個別健康教育(喫煙)を実施する市町村数の増加										
喫煙対策事業の全市町での実施										
たばこ問題に関する普及啓発(喫煙が及ぼす健康影響、質の高い分煙に関する知識の)未成年者がたばこを入手する場										93.1→100.0
販売店の未成年者へのタバコ販売をしない旨の表示										
子どもの前でたばこをすわないようしている大人の割合										
喫煙マナーを守る人の割合										
たばこの自動販売機の状況										
たばこ健康に関する情報提供を行っている市町村数										
たばこ外来を開設している医療機関の数										
禁煙セミナー実施保健所の割合										
禁煙教育を実施している事業所数の増加										
タバコに関する情報提供の機会を増やす										不明→増加
青少年の喫煙に関する親の認知										
学校周辺及び分煙を進める施設での自動販売機				不明→減らす						
許可を受けずに設置された自動販売機の減少										
午後11時過ぎに稼働を自粛している自動販売機の増加										
ラジオ・テレビによる反喫煙広告の増加										
喫煙者のうち禁煙しようと思う人の増加										
たばこを買うとき年齢を確認している小売店数の増加										
たばこを購入したことがある児童・生徒をなくす										
児童・生徒にたばこを買いに行かせない機会をなくす										
喫煙者のうち禁煙を支援してくれる人がいる割合の増加										
支えあう仲間がいる										
脳卒中死亡者の減少										
脳血管疾患年齢調整死亡率の低減										
小疾患死亡者の減少										
虚血性心疾患年齢調整死亡率の低減										
がん死亡者の減少										
たばこ関連疾患による死亡率(人口10万対)										
進行したがん患者の減少										
悪性新生物年齢調整死亡率の減少										
40-50代の肺がん死亡率										40代6.0 50代25.9→減らす

たばこ

項目/達成率	喫煙	たばこ(喫煙)			喫煙	喫煙対策の推進				
たばこに関する健康教育や禁煙指導を実施する市町村の割合の増加										
禁煙支援体制を整えた市町村数										
この1年間で、たばこに関する健康教室や禁煙指導(保健所、保健センター、医療機関等の開催)に参加したことのある人の割合の増加										
禁煙教育の実施率										
禁煙教室の開催									13市町村 →58市町村	
市町村・保健所において禁煙指導を受ける人の数										
禁煙希望者(禁煙に関心がある者を含む。)の禁煙達成の向上による成人非喫煙者の割合										
学校におけるたばこに関する保健指導の充実									小学13年度調査 →増やす	小学未調査→増加
喫煙防止教育を行なう学校の割合										
禁煙希望者への支援による非喫煙率の増加										
禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを受けられる割合の増加										
禁煙指導者数										
禁煙指導者を受け取る者										
両科学校、再科教室における禁煙教育を実施している割合										
「デバイス替換法」を実施している医療機関数				102→500以上		不明→増やす				
禁煙指導を実施している医療機関の割合										
禁煙外来(医療機関)									108→200	
禁煙補助剤を処方している医療機関数の増加										37→増加
たばこに関する調査結果を公表している保健所数の増加										未調査→全保健所
禁煙希望者への禁煙指導プログラムの提供										
健診会場での禁煙指導						不明→増やす				
かかりつけ医における禁煙指導						不明→増やす				
喫煙防止・禁煙のための健康教育実施市町村						34.7→100.0				
老人保健事業個別健康教育(喫煙)を実施する市町村数の増加										0→増加
喫煙対策事業の全市町村での実施	4市町→全市町									
たばこ問題に関する普及啓発(喫煙が及ぼす健康影響、質の高い分煙に関する知識の未成年者がたばこを入手する場所)										
販売店の未成年者へのタバコ販売禁止の表示	不明→100.0									
子どもの前でたばこをすわないよう促している大人の割合						今後調査予定→増やす				
喫煙マナーを守る人の割合						調査法検討→増やす				
たばこの自動販売機の状況						県内26,805台→未成年がたばこを購入できない仕組みづくりの確立				
たばこ健康に関する情報提供を行っている市町村数						31市町村→全市町村				
たばこ外来を開設している医療機関の数						今後調査法検討→増やす				
禁煙セミナー実施県保健所の割合						62.5→100.0				
禁煙教育を実施している事業団数の増加										未調査→増加
タバコに関する情報提供の機会を増やす										
青少年の喫煙に関する親の認識						不明→増やす				
学校周辺及び分煙を進める施設での自動販売機										
許可を受けずに設置された自動販売機の減少										未調査→減少
午後11時過ぎに稼働を自粛している自動販売機の増加										未調査→100.0
ラジオ・テレビによる反喫煙広告の増加										未調査→増加
喫煙者のうち禁煙しようと思う人の増加										男49.4女56.6→増加
たばこを買った半年齢を確認している小売店数の増加										コンビニに社 チェーン店など
たばこを購入したことがある児童・生徒なくす										60.0→0.0
児童・生徒にたばこを買いに行かせる家族なくす										60.0→0.0
喫煙者のうち禁煙を支援してくれる人がいる割合の増加										未調査→増加
支えあう仲間がいる									30.1→65.9	
脳卒中発症率の減少									男 98.0→64 女 58.8→38	
心疾患発症率の減少									男 58.5→42 女 34.7→26	
虚血性心疾患年系調整死亡率の低減										
がん死亡者の減少										
たばこ関連疾患による死亡(人口10万対)						肺がん男47.0女9.8→減少 心疾患男99.3女61.2→減少 脳卒中男94.4女59.0→減少				
進行した癌発症の減少										
悪性新生物年齢調整死亡率の減少									肺がん男 49.6→62 女 12.0→13	
40-50代の肺がん死亡率										

アルコール

項目	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位				
アルコール					アルコール									
喫煙・飲酒・薬物														
飲酒														
①1日に平均純アルコール160gを超えて多量に飲酒する人の減少	男41女03-2割以上の減少		男132女07-500減 少男6.6以下女03以下		男12.9-10.0以下 女9.3-7.0以下		男12.5-7.0 女0.9-0.3		男80女1.3-0.0		今後調査→200減	男12.2-5.0女2.5-1.0		男5.9-4.7以下 0.8-0.6以下
毎日飲酒する人の割合														
1日4回以上飲酒者														
習慣的に多量飲酒する人(週9回以上、かつ1日に純アルコールで約60g以上酒類を飲む人)の割合			男7.8-6.0女0.2-0.2以下											
1日平均1.7日本酒の割合以上、ビール1合以上飲酒者の割合														
1日2合以上の過量飲酒者														
1日平均1合以上飲酒する人の割合														
多量飲酒の者														
習慣的飲酒者の割合														
飲酒する成人のうち飲酒しない日を週1日以上続ける人の割合														
休肝日を設ける人の割合を増やす														
飲酒者においては適性飲酒を守る														
妊婦の飲酒者														
妊婦・授乳中の女性で飲酒する人の割合														
適量を守り、楽しく飲酒することができる														
酒量を減らすこと														
ストレス解消するため、習慣的に過量飲酒をする人の割合														
飲酒を断れる雰囲気がある														
②未成年者の飲酒														
未成年者の飲酒を許すべきではないと考える親の割合を増やす														
未成年にアルコール飲料を提供しない対策をとる飲食店を増やす														
学校での喫煙・飲酒・薬物利用防止教育の実施														
販売店・飲食店の未成年者への酒類販売禁止の表示														
未成年にアルコール飲料を売らない対策をとる酒類販売店を増やす														
未成年への健康教育・学習の機会														
高校生の飲酒「飲まない」の割合														
高校生の酒害意識「高い」の割合														
学校における未成年者飲酒防止教育の実施割合														
③酒類販売店での飲酒防止対策														
アルコールに関する普及啓発(イベント、講演会、健康教室、広報誌等)を実施している市町村の割合の増加														
アルコール問題に関する啓発														
かかりつけ医によるアルコール問題の早期対応と適正飲酒指導の実施														
アルコール依存症者への相談窓口の増加														
飲酒により健康を害した人等に断酒・節酒指導を実施している市町村の割合														
アルコール問題の相談窓口を知っている														
アルコールに関する健康教室の開催														
アルコールと健康に関する相談の場を提供している市町村数														
アルコールと健康に関する情報提供を行っている市町村の適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供する機会														
適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供する機会を提供している市町村数														
適正飲酒に関する健康教育を実施する市町村の割合														
アルコール教育、アルコール相談の教育などを受けた指導者														
アルコールに関する情報提供の機会														
アルコールの飲み過ぎによる健康への悪影響を知っている人の割合の増加														
「アルコール依存症者・回復者は完全断酒が必要である」とを知っている人の増加														
急性アルコール中毒の危険性について知っている人														
アルコール依存症や肝臓病との関係について知っている人														
アルコールによる身体疾患やアルコール依存症について知っている人														
アルコールに関する教育を受ける機会の増加														
断酒会等の自助グループの増加														
断酒会等の自助グループを有する市町村数														
アルコールに関する学習の場の増加														
アルコール外傷を回復している医療機関の数														
定期的に肝臓健診を受ける														
健康診断の事後指導の実施														
健診においてアルコール性肝疾患を指摘される者														
基本健康診査でのアルコールによる肝機能検査要指導の割合														
基本健康診査の要指導・要医療者の割合														
多量飲酒者の肝臓病診断受診者の増加														
かかりつけ医における適正飲酒指導														
保健指導にあたるものうちアルコールスクリーニングテストを知っている者が増やす														
アルコール依存症の人の減少														
妊娠中の飲酒は妊娠における危険因子であると知っている人の割合を増やす														
改良型以外の酒類販売機の数を減らす														
県内酒類自動販売機数														
酒類販売機のあり方について要配慮する市町村数														
アルコール性肝疾患有所見者の割合														
アルコール性肝疾患による死亡者数の減少														
交通事故年齢調整死亡率の減少														
γGTPが400単位以上の人の割合の減少														

アルコール

	飲酒(アルコール)		たばこ・アルコール	9年未満	9年未満	9年未満	9年未満	9年未満	9年未満	9年未満	9年未満	9年未満	9年未満	
①1日に平均アルコールで60gを超え過量に飲酒する人の割合	男89→7.1以下	58→50以下	全体6.0→20.0以下 少男7.6→6.1以下 1.4→1.1以下	男4.7女0.5→ 減らず	男11.2女 6.3→男女 とも20.0 減少					29.1→2割 減少	男56.0→減らず 女4.5減らず	男8.9→7.1女 4.1→3.2	基準値なし(今 後調査)→減少	男4.2→3.0以下 女 0.3→0.2以下
毎日飲酒する人の割合		23.5→19.0以下												
1日4合以上飲酒者														
習慣的に多量飲酒する人(週9回以上、かつ1日に純アルコールで約60g以上酒類を飲む人)の割合														
1日平均して日本酒2合以上、ビール1合以上飲む人の割合														
1日2合以上の過量飲酒者														
1日平均1合以上飲酒する人の割合														
多量飲酒の者														
習慣的飲酒者の割合														
飲酒する成人のうち飲酒しない日を週1日以上除ける人の割合														
休肝日を設ける人の割合を増やす														
飲酒者においては適性飲酒を守る														
妊娠中の飲酒者														
妊娠・授乳中の女性で飲酒する人の割合														
適量を守り、楽しく飲酒することを目指す														
酒量を抑えようと思う														
ストレス解消するため、習慣的に過量飲酒をする人の割合														
飲酒を断れる雰囲気がある														
②1日1合以上の飲酒者	中男26.8女23.6高男 75.7女75.6→0.0	60.4→0.0	不明→0.0											
青少年の飲酒に際して正しい認識を持つための未成年者の飲酒を許すべきではないと考える者の割合を増やす														
未成年にアルコール飲料を提供しない対策をとる飲食店を増やす														
学校での喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施														
飲食店・飲食店の未成年者への酒類販売をしない旨の表示														
未成年にアルコール飲料を売らない対策をとる酒類販売店を増やす														
未成年への健康教育・学習の割合														
高校生の飲酒(飲まない)の割合														
高校生の酒量意識(変はない)の割合														
学校における未成年者飲酒防止教育の実施割合														
③前年度より過度に飲酒(2合以上)の増加(市町村別)の割合	不明→100.0	29.5→100.0	67.0→100.0											
アルコールに関する普及啓発(イベント、講演会、健康教室、広報紙等)を実施している市町村の割合の増加														
アルコール問題に関する啓蒙														
かかりつけ医によるアルコール問題の早期対応と適正飲酒指導の充実														
アルコール依存者への相談窓口の増加														
飲酒により健康を害した人等に断酒・節酒指導を実施している市町村の割合														
アルコール問題の相談先を知っている														
アルコールに関する健康教室の開催														
アルコールと健康に関する相談の場を提供している市町村数														
アルコールと健康に関する健康講座を行っている市町村の														
適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供する割合														
適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供する割合を提出している市町村数														
適正飲酒に関する健康教育を実施する市町村の割合														
アルコールについての健康講座の開催														
アルコールの飲み過ぎによる健康への悪影響を知っている人の割合の増加														
「アルコール依存症・回復者は完全断酒が必要である」ことを知っている人の割合の増加														
急性アルコール中毒の危険性について知っている人														
アルコール依存症や肝臓病との関係について知っている人														
アルコールによる身体疾患やアルコール依存症について知っている割合														
アルコールに関する教育を受ける機会の増加														
断酒会等の自助グループの増加														
断酒会等の自助グループを有する市町村数														
アルコールに関する学習の場の増加														
アルコール外果を開設している医療機関の数														
定期的に肝機能検査を受ける														
健康診断の事後指導の実施														
健診においてアルコール性肝疾患を指摘される者														
基本健康診査でのアルコールによる肝機能障害要指導の割合														
基本健康診査の肝疾患の要指導・要医療者の割合														
過量飲酒者の健康診断受診者の増加														
かかりつけ医に相談する受診者の増加														
健康指導にあたるものうちアルコールスクリーニングテストを知っている者を増やす														
アルコール依存症の人の減少														
妊娠中の飲酒は妊娠における危険因子であると知っている人の割合を増やす														
改良型以外の酒類販売機の数減らす														
県内酒類自動販売機数														
酒類販売機のあり方について考慮する市町村数														
アルコール性肝疾患有所見者の割合														
アルコール性肝疾患による死亡率の減少														
交通事故年齢調整死亡率の減少														
γGTPが100単位以上の人の割合の減少														

アルコール

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
たばこ・アルコール・薬物										
飲酒										
① 1日に平均アルコール度数が60を超過する人の減少	男4.1-3.2以下 女0.3-0.2以下				4.2-3.4以下(200以上 の減少)	男9.9-4.1以下 女0.6-0.2以下	男4.1-3.2以上 女0.3-0.2以下	60代男11.0 20 代女3.1-減少	男飲酒習慣のある 人の13.4-20.0以上 の減少	不明-減らす
毎日飲酒する人の割合			17.0-減少							
1日4回以上飲酒者										
習慣的に多量飲酒する人(週3回以上、かつ1日に純アルコールで約60g以上酒類を飲む人)の割合										
1日平均して日本酒2合以上、ビール1合以上飲むものの割合										
1日2回以上の過量飲酒者										
1日平均1合以上飲酒する人の割合										
多量飲酒の者		男4.6-3.6以下 女0.8-0.6以下				男7.4女0.4-20.0以上 減 男6.0以下女0.3以下				
習慣的飲酒者の割合										
飲酒する成人のうち飲酒しない日を週1日以上設ける人の割合										
休肝日を設ける人の割合を増やす										
飲酒者においては適性飲酒を守る										
好酒の飲酒者										不明-0.0
好酒-特選中の女性で飲酒する人の割合										
適量を守り、楽しく飲酒することが出来る										
酒量を抑えようと思う										
ストレス解消するため、習慣的に過量飲酒をする人の割合										
飲酒を断れる雰囲気がある										
② 未成年の飲酒防止		男16.4女5.0-0.0	22.3-0.0	15-19歳男12.7女11.5- なくす	不明-なくす	中8男25.4女17.2高8男 51.5女35.9-0.0	中8男25.4女17.2高 8男51.5女35.9-0.0	中8男25.4女 17.2高3男51.5 女35.9-0.0	中8男25.4女17.2高3 男51.5女35.9-0.0	中2男14.9女10.2 高3男26.7女 20.6-0.0
未成年の飲酒に際して正しい認識を持つための 未成年者の飲酒を許すべきではないと考える親の割合を増 やす										
未成年にアルコール飲料を提供しない対策をとる飲食店を増 やす										
学校での喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施										
販売店・飲食店の未成年者への酒類販売をしない旨の表示										
未成年にアルコール飲料を売らない対策をとる酒類販売店を 増やす										
未成年への健康教育・学習の機会										
高校生の飲酒「飲まない」の割合										
高校生の酒量意識「少ない」の割合										
学校における未成年者飲酒防止教育の実施割合										
③ 飲酒による健康被害の軽減		男48.4女43.6-100.0		不明-普及	不明-100	不明-100.0	不明-100.0		不明-普及	
アルコールに関する普及啓発イベント、講演会、健康教室、 広報誌等)を実施している市町村の割合の増加										
アルコール問題に関する啓発										
かかりつけ医によるアルコール問題の早期対応と適正飲酒 指導の充実										
アルコール依存者への相談窓口の増加										
飲酒により健康を害した人等に断酒・節酒指導を実施してい る市町村の割合										
アルコール問題の相談先を知っている						不明-500以上				
アルコールに関する健康教室の開催										不明-増やす
アルコールと健康に関する相談の場を提供している市町村数										
アルコールと健康に関する情報提供を行っている市町村の 適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供す る割合										
適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供す る機会を提供している市町村数										
酒量な飲酒に関する健康教育を実施する市町村の割合										
アルコール教育、アルコール相談の教育などを受けた指導者										
アルコールについての情報提供の機会										
アルコールの飲み過ぎによる健康への悪影響を知っている 人の割合の増加					不明-未成年 増加					
{アルコール依存症者・回復者は完全断酒が必要である}こと を知っている人の増加										
急性アルコール中毒の危険性について知っている人										
アルコール依存症や肝臓病との関係について知っている人										
アルコールによる身体疾患やアルコール依存症について 知っている人										
アルコールに関する教育を受ける機会の増加						不明-未成年者100.0				
断酒会等の自助グループの増加										
断酒会等の自助グループを有する市町村数										
アルコールに関する学習の場の増加										
アルコール外薬を服用している医療機関の数										
定期的に肝臓科診察を受ける										
健康診断の事後指導の実施										
健診においてアルコール性肝疾患を指摘される者										
基本健康診査でのアルコールによる肝臓病検査受診指導の別 基本検査の肝疾患の要指導・要医療者の割合		3.7-3.3以下								
健康診断者の健康診断受診者の増加		892人-802人以下								
健康診断における健康診断受診率										
かかりつけ医における適正飲酒指導										
健康指導にあたるものうちアルコールスクリーニングテスト を知っている者を増やす										
アルコール依存症の人の減少										
好酒中の飲酒は好酒における危険因子であると知っている 人の割合を増やす										
改良型以外の酒類販売機の数減らす										
県内酒類自動販売機数		5626台-3738台以 下								
酒類販売機のあり方について考慮する市町村数										
アルコール性肝疾患有所見者の割合										
アルコール性肝疾患による死亡率の減少										
交通事故年齢調整死亡率の減少						男20.5女 7.0-減少 男 17.8-14.0 以下女 7.6-6.0以				
γ-GTPが100単位以上の人の割合の減少										

アルコール

項目	数値	変化	数値	変化	数値	変化	数値	変化
①1日に平均純アルコール量が50gを超える多量に飲酒する人の割合	男4.5→減らす	全体4.1男6.7→20.0以上の減少60歳以上全体4.1男9.9→20.0以上の減少		減らす		飲酒	アルコール(飲酒)	男6(6以上)46.6→20.0減1回3合7.6→半減 女(3合以上)5.5→半減1回3合1.0→半減
毎日飲酒する人の割合			男36.1→30.0以下女3.6→5.0以下					男8.4→6.0以下女1.4→1.0以下
1日4合以上飲酒者								
習慣的に多量飲酒する人(週3回以上、かつ1日に純アルコールで約60g以上酒類を飲む人)の割合								
1日平均して日本酒2合以上ビール1合以上飲むものの割合								男16.1女1.8→半減
1日2合以上の過量飲酒者	男25.2→減らす		16.7→12.0以下					
1日平均1合以上飲酒する人の割合								
多量飲酒の者		女0.8→20.0以上の減少						
習慣的飲酒者の割合								
飲酒する成人のうち飲酒しない日を週1日以上設ける人の割合								
休肝日を設ける人の割合を増やす								
飲酒者においては適性飲酒を守る								
好適の飲酒者								調査法検討→なくす
妊娠・授乳中の女性で飲酒する人の割合			不明→0.0					
適量を守り、楽しく飲酒することが出来る								
酒量を減らそうと思う								6.3→増やす
ストレス解消するため、習慣的に過量飲酒をする人の割合			不明→減少					
飲酒を断れる空間がある								
②未成年の飲酒(未成年者による飲酒)	中学男45.2女38.2→減らす	月に一回以上中学6.2高校18.1→0.0	不明→0.0	なくす		不明→0.0	国調査男中3 25.4高3 51.5女中1 17.2高3 35.9→なくす	中3男10.0女9.5→0.0高3 男女未把握→0.0
未成年者の飲酒に関して正しい認識を持つもの								
未成年者の飲酒を許すべきではないと考える親の割合を増やす								
未成年にアルコール飲料を提供しない対策をとる酒類販売店を増やす								
学校での禁煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施								
販売店・飲食店の未成年者への酒類販売しない旨の表示								不明→100.0
未成年にアルコール飲料を売らない対策をとる酒類販売店を増やす								
未成年への健康教育 学習の機会		不明→増加						
高校生の飲酒「飲まない」の割合								
高校生の酒害意識(害はない)の割合								
学校における未成年者飲酒防止教育の実施割合			不明→100.0					小中高不明→100.0 調査法検討→100.0
③酒害のある飲酒(飲酒による健康被害)		不明→100.0	不明→100.0	73.8→100.0		不明→100.0	男82.2女93.2→100.0	
飲酒による健康被害(飲酒による健康被害)								
アルコールに関する普及啓発(イベント、講演会、健康教室、広報誌等)を実施している市町村の割合の増加								
アルコール問題に関する啓蒙								増やす
かかりつけ医によるアルコール問題の早期対応と適正飲酒指導の充実								
アルコール依存症者への相談窓口の増加								
飲酒により健康を害した人等に断酒・節酒指導を実施している市町村の割合			不明→100.0					
アルコール問題の相談先を知っている								
アルコールに関する健康教室の開催								
アルコールと健康に関する相談の場を提供している市町村数								3市町村→保健所単位で原則2市町村
アルコールと健康に関する情報提供を行っている市町村の適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供する機会								32市町村→全市町村
適正飲酒などアルコールに関する学習や活動の場を提供する機会を提供している市町村数								6市町村→保健所単位で原則2市町村
適正飲酒に関する健康教育を実施する市町村の割合								
アルコール教育・アルコール相談の教育などを受けた指導者								
アルコールについての情報提供の機会		不明→増加						
アルコールの飲み過ぎによる健康への悪影響を知っている人の割合の増加								
「アルコール依存症者・回復者は完全断酒が必要である」ことを知っている人の増加								
急性アルコール中毒の危険性について知っている人								
アルコール依存症や肝臓病との関係について知っている人								
アルコールによる身体疾患やアルコール依存症について知っている者								
アルコールに関する教育を受けられる機会の増加								
断酒会等の自助グループの増加								
断酒会等の自助グループを有する市町村数								
アルコールに関する学習の場の増加								
アルコール外来を開設している医療機関の数								調査法検討→増やす
定期的に肝臓検査を受ける								
健康診断の事後指導の実施								
健診においてアルコール性肝疾患を指摘される者				4.8→3.5				6.0→20.0減
基本健康診査でのアルコールによる肝機能障害要指導の割合								23.2→100.0
基本健康診査の肝疾患の要指導、要医療者の割合								
多量飲酒者の健康診断受診者の増加								
精神科より行動観察を指示される者								
かかりつけ医における適正飲酒指導								
保健指導にあたるものうちアルコールスクリーニングテストを知っている者を増やす								
アルコール依存症の人の減少				減らす				今後調査法検討→減らす
妊娠中の飲酒は妊娠における危険因子であると知っている人の割合を増やす								
改良型以外の酒類販売機の数を減らす								
県内酒類自動販売機数								
酒類販売機のあり方について考慮する市町村数								
アルコール性肝疾患有所見者の割合								
アルコール性肝疾患による死亡者数の減少								
交通事故年齢調整死亡率の減少								
γGTPが100単位以上の人々の割合の減少								

